

エゾビタキ

カワラヒワか？ アオジか？ とためすすがめつ観察したのですが、決め手がみつかりません。かって見たことがない鳥のようなのです。10羽ほどの群れが澄川駐車場広場の西側法面に生えているエゾヤナギの花粉を黙々としゃぶっているのです。声を発してくれば種類を見分けるヒントなのですがね。逆光でしたが映像をゲットできましたのをご覧ください。帰宅していろいろ調べましてエゾビタキと判定いたしました。



エゾビタキはポピュラーではありません。私にしても初見参なのでした。愛用の図鑑やネットで検索していろいろ調べますに、エゾと頭についた命名ですが、北海道で繁殖しているわけではなく、ただ通過するだけの旅鳥とされてい

て、春と秋の渡りの時期にしか札幌では見ることは出来ないようなのです。そんな鳥に出会うなんて大変な幸運にでくわしたわけです。2014年4月24日12時11分とデジカメ画像に記録されました。

夏、サハリンで繁殖しているらしいのですが、確認されてはいないようですから、謎の鳥のようです。希少種であることに違いありません。スズメ目ヒタキ科に属します。澄川森林で過去にお目にかかったヒタキ科の鳥はキビタキ、オオルリが思いだされます。

この日は今年最高気温 20℃と予報されました。帰りに大窪さんの車に乗った時点で車内温度が27℃でした。そんなカンカン照り中で午前、午後とも支笏湖のCGCの森に建てる標柱の文字の刻印作業をつづけていましたので、昼飯後にちよいと気晴らしに散策したのが大正解でありました。

ヤナギの花粉にはエゾビタキを観察している場面でコガラとヒヨドリも食べにきました。カラ類の春先の貴重な食べ物のような感じでした。



ネットで選んだ美しいエゾビタキの写真です。地味でもの静かな鳥なので、出会えた幸運を喜びたいと思います。